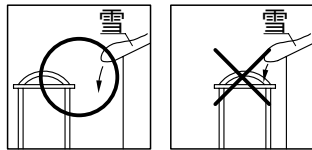


●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

<施工の前に>

- ①正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。
- ②設置場所の確認
 - ①施工場所に寸法的に正しく納まるか確認して下さい。
 - ②建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認して下さい。



- ③施工場所の気象条件（風、雪等）に合った商品かどうか確認して下さい。
- ④強風地域、特に崖上、建物の屋上、踊場、風の通り道上等の施工は避けて下さい。
- ⑤豎樋の端末以降の排水については、施工店様～施主様でご確認下さい。
- ③規格表、梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認して下さい。
- ④組立、施工途中では
 - ①ボルト、ビスは弊社純正品を使用し、規定本数を確実に締め付け固定して下さい。
 - ②取付説明書の順番通り組付けて下さい。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
 - ③アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにして下さい。
- ⑤基礎工事について
 - ①基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法として下さい。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
 - ②基礎コンクリートには、塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤を使用しないで下さい。
- ⑥製品の改造は絶対に行わないで下さい。
- ⑦施工完了後は
 - ①ボルト、ビス等に緩みがないか確認して下さい。
 - ②施工中の汚れは取り除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗装をして下さい。
- ⑧施工終了後は、取付説明書を施主様にお渡し下さい。

<施工上のご注意>

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なって下さい。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用して下さい。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なって下さい。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用して下さい。
- 重量物ですので、2人で作業を行って下さい。
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置して下さい。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認して下さい。

<施主様へ>

- ①積雪が20cmを越えないうちに必ず雪おろしをして下さい。
- ②絶対に屋根の上に乗らないで下さい。

■梱包明細書

①柱セット

名 称	員 数	
	支柱	雨樋柱
① 支柱	1	—
② 雨樋柱	—	1

②母屋セット

名 称	員 数		
	基本	連棟	単独
③ 前枠(基本) L・R	各1	—	—
④ 前枠(連棟)	—	1	—
⑤ 前枠(単独)	—	—	1
⑥ 母屋(基本)	6	—	—
⑦ 母屋(連棟)	—	3	—
⑧ 母屋(単独)	—	—	3
⑨ 雨樋(基本) L・R	各1	—	—
⑩ 雨樋(連棟)	—	1	—
⑪ 雨樋(単独)	—	—	1
⑫ 屋根材押え(前枠用)	4	2	3
⑬ 屋根材押え(雨樋用)	4	2	3

③垂木セット

名 称	員 数		
	基本	連棟	単独
⑭ 端部垂木	2	—	2
⑮ 垂木	3	2	2
⑯ 端部垂木カバー	2	—	2
⑰ 垂木カバー	3	2	2

④側枠セット

名 称	員 数
⑱ 側枠	2

⑤屋根材セット

名 称	員 数	
	2枚入り	3枚入り
⑲ 屋根材	2	3

⑥雨樋セット

名 称	員 数
⑳ 樋	1
㉑ サドル	1
㉒ サドル受け	1
㉓ アタッチメント	1
㉔ アタッチメントパッキン	4
㉕ エルボ	1
㉖ 孔ふさぎ板	3
㉗ アタッチメント・サドル受け取付ネジ M4×16トラス	10
㉘ サドル取付ネジ φ4×14トラス	2

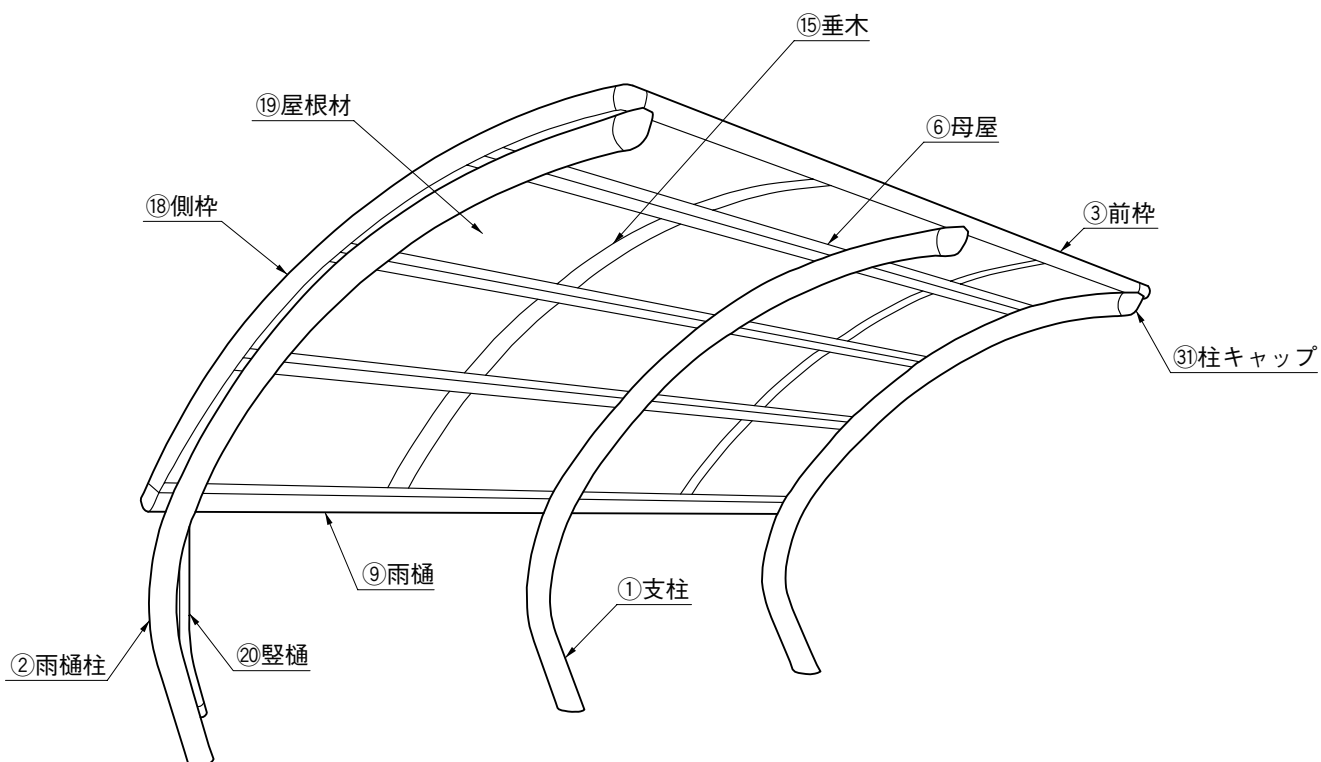
⑦部品セット

名 称	員 数		
	基本	連棟	単独
㉙ 前枠コーナーキャップL, R	各1	—	各1
㉚ 雨樋コーナーキャップL, R	各1	—	各1
㉛ 柱キャップ	3	1	2
㉜ 母屋固定金具	9	3	6
㉝ 前枠連結材	1	1	—
㉞ 後枠取付裏板	1	1	—
㉟ 雨樋連結キャップ	1	1	—
㊱ 母屋取付ボルト M8×60六角ボルト	18	6	12
㊲ 母屋取付ナット M8六角袋ナット	18	6	12
㊳ 母屋取付座金 M8用平座金	36	12	24
㊴ 母屋取付座金 M8用パネ座金	18	6	12
㊵ 前枠・後枠取付ボルト M8×25六角ボルト(座金付)	12	4	8
㊶ 垂木カバー・屋根材押え取付ネジ φ5×12トラス(樹脂座金付)	89	38	70
㊷ キャップ・連結材取付ネジ M4×16トラス	28	6	22
㊸ 垂木取付ネジ φ4×12ナベ	50	20	40
㊹ 後枠取付裏板取付ネジ M4×10サラ	2	2	—
㊺ コーキング剤	1	—	1
㊻ 取付説明書	1	—	1

⑧輪止めセット(オプション)

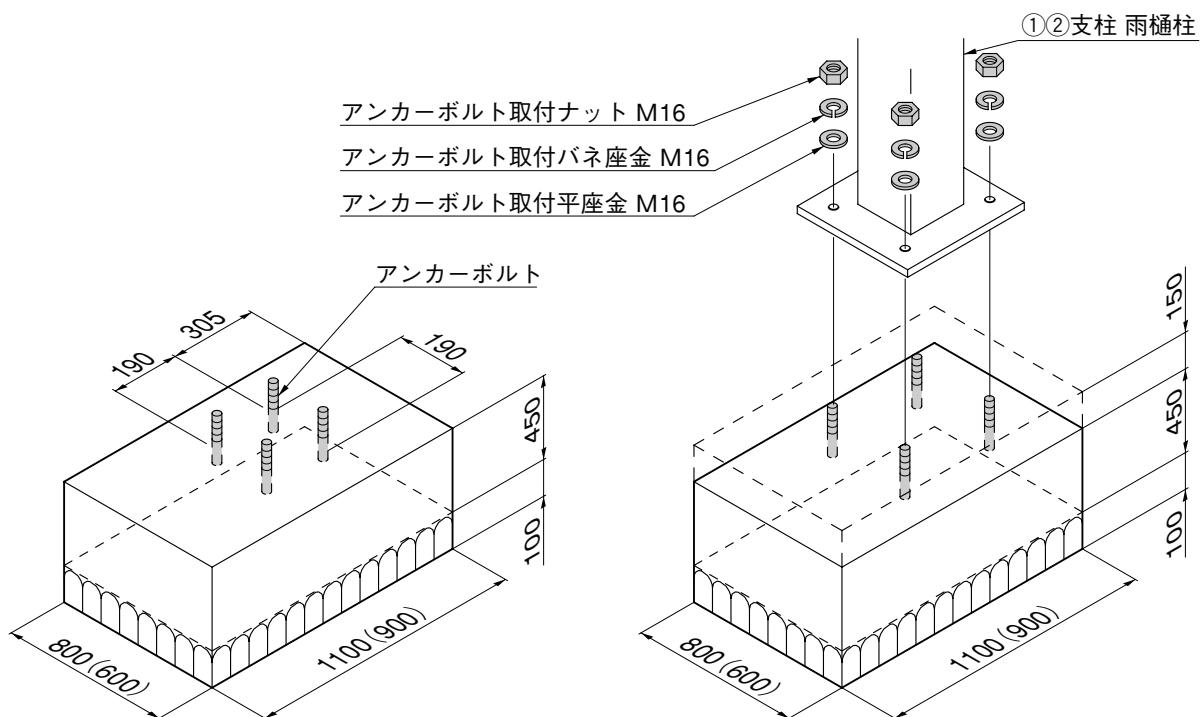
名 称	員 数	
	L=1250	L=2000
㊼ 輪止め	1	1
㊽ アンカーピン	2	2
㊾ アンカーピン取付ナット M6六角ナット	4	4

1. 姿図および各部名称



● 図は基本タイプです。

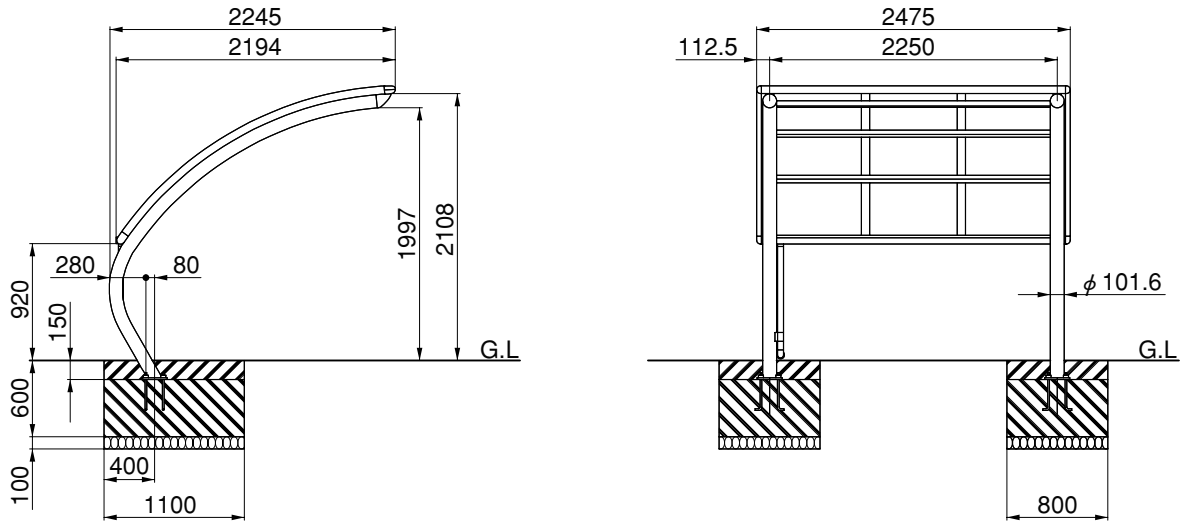
2. 基礎施工 アンカーボルトは、別途アンカーセットで施工します。



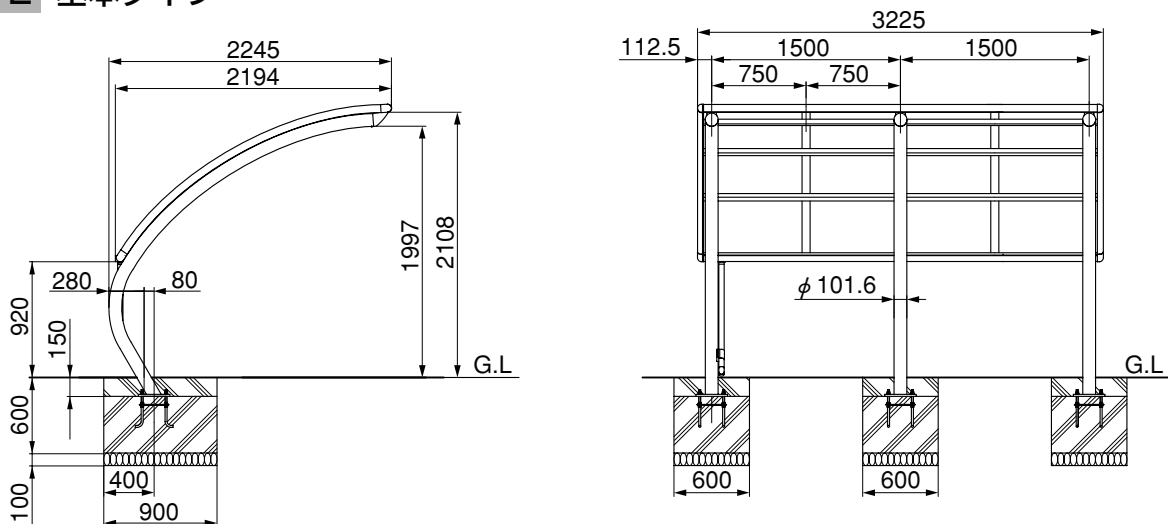
● () 内寸法は基本・連棟タイプの基礎寸法です。

3.基本寸法

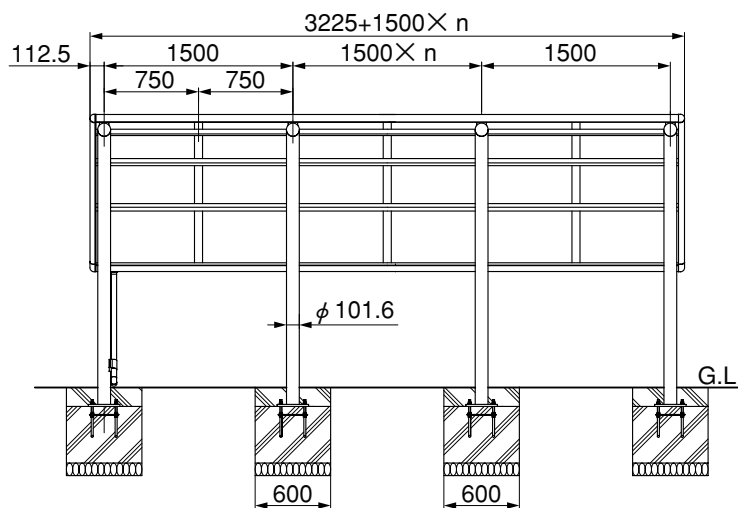
3-1 単独タイプ



3-2 基本タイプ



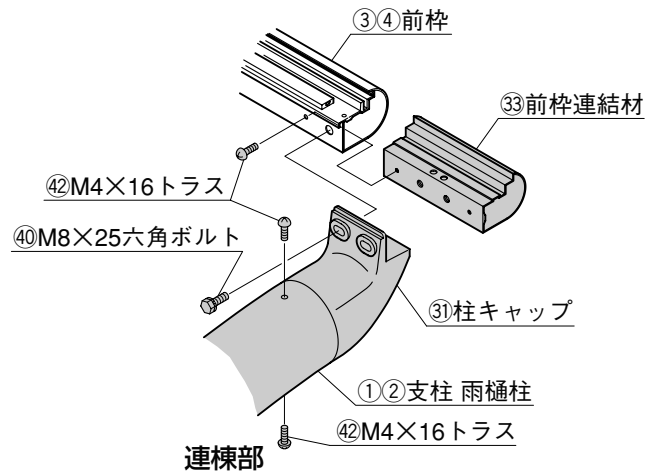
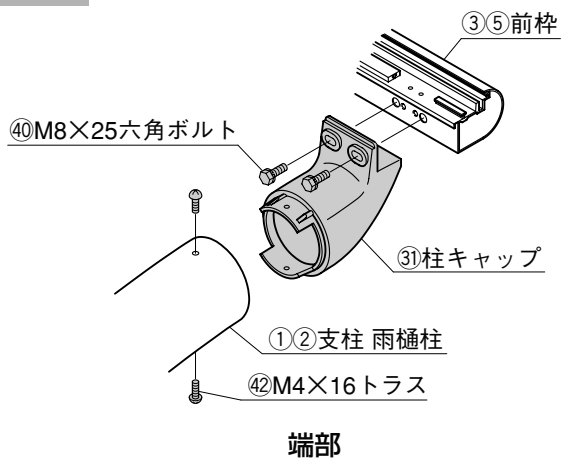
3-3 連棟タイプ



※雨樋柱は、左端から(1,4,7,11...)の位置に施工してください。ただし最右端は、常に通常の支柱になります。

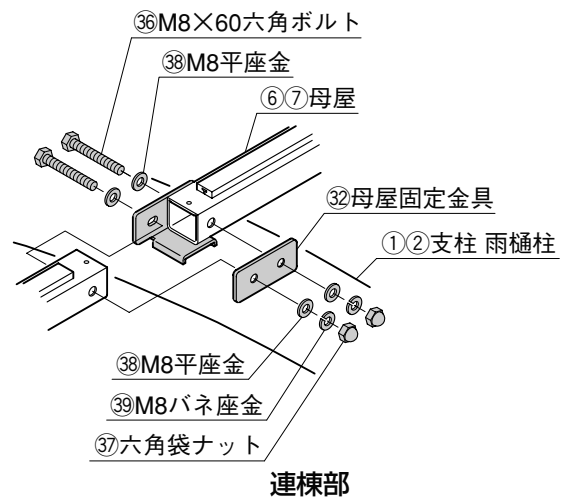
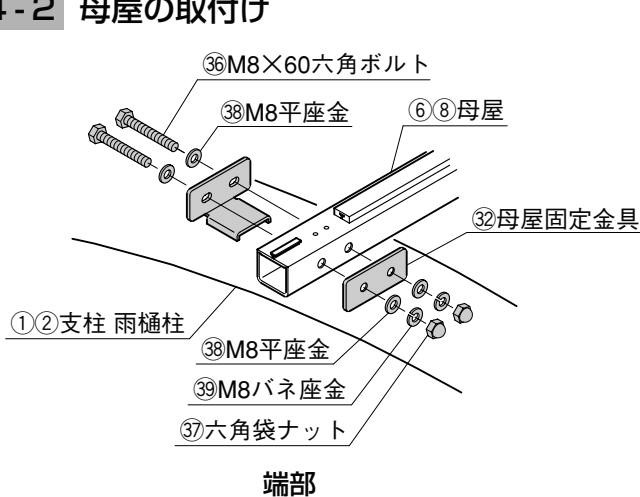
4.前枠・母屋・雨樋の取付け

4-1 前枠の取付け

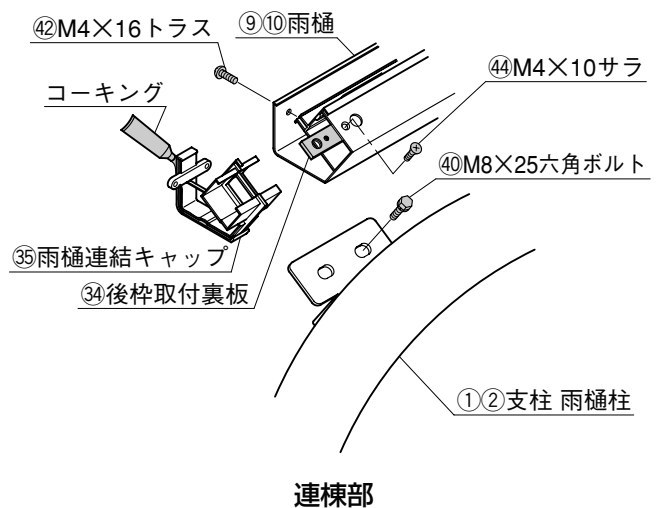
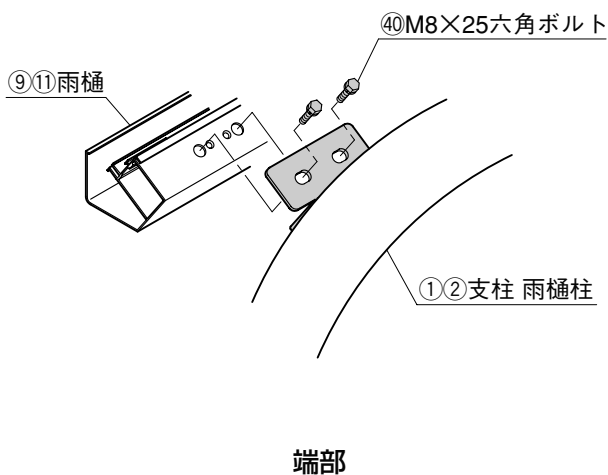


- ① 端部、連棟部共に柱キャップを取付け後、前枠を取付けて下さい。
- ② 連棟部では一方の前枠に前枠連結材を取付けてからもう一方の前枠を差込み、M8×25六角ボルトで柱キャップと前枠を固定して下さい。

4-2 母屋の取付け

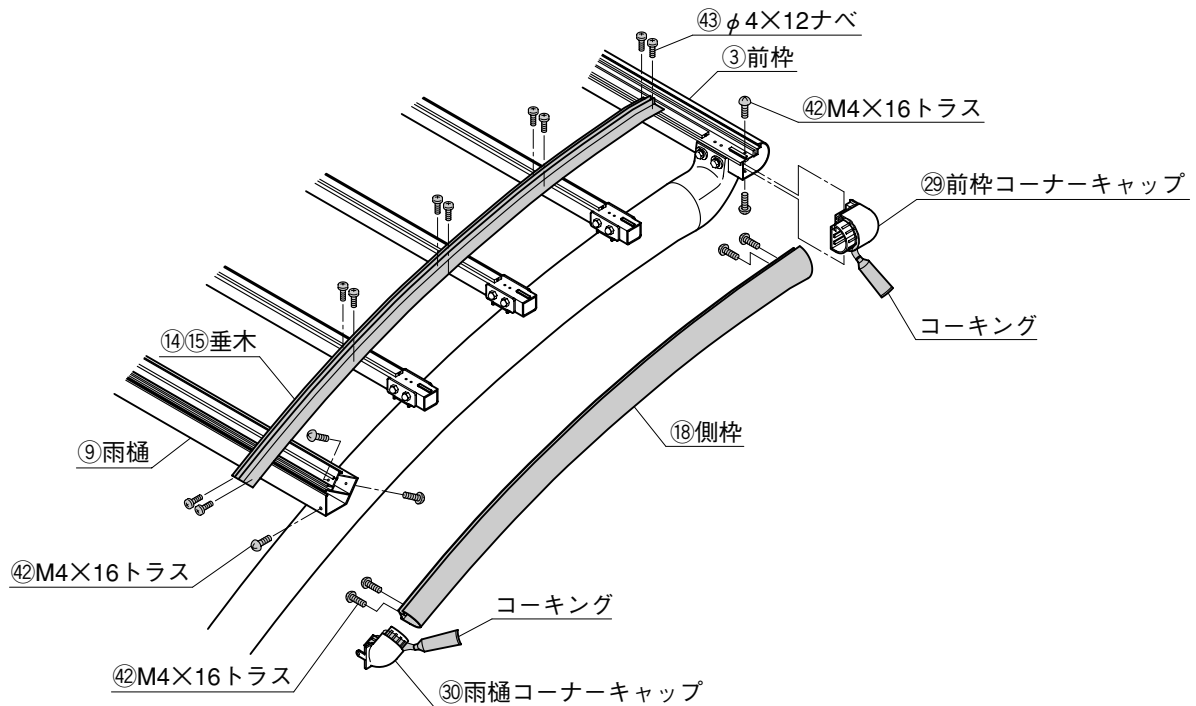


4-3 雨樋の取付け



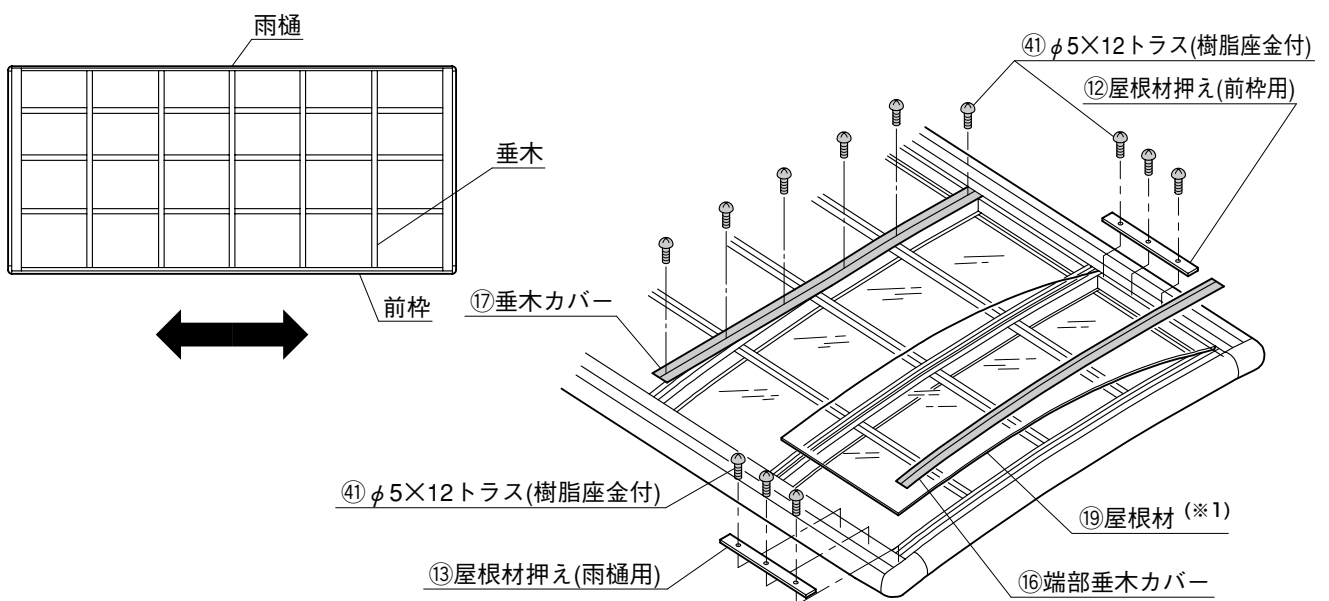
- ① 後枠取付裏板を一方の雨樋に取付けて下さい。
- ② 雨樋連結キャップにコーキングを施し、雨樋に差込み、もう一方の雨樋を取付けて下さい。

5. 垂木・側枠の取付け



- ① ①⑧側枠に②⑨前枠コーナーキャップと③⑩雨樋コーナーキャップを④②M4×16トラスで取付けて下さい。
- ② キャップを取付けた①⑧側枠を③前枠、⑨雨樋に取付け、コーキングを施して下さい。
- ③ ①④⑤垂木を前枠側から順に取付けて下さい。

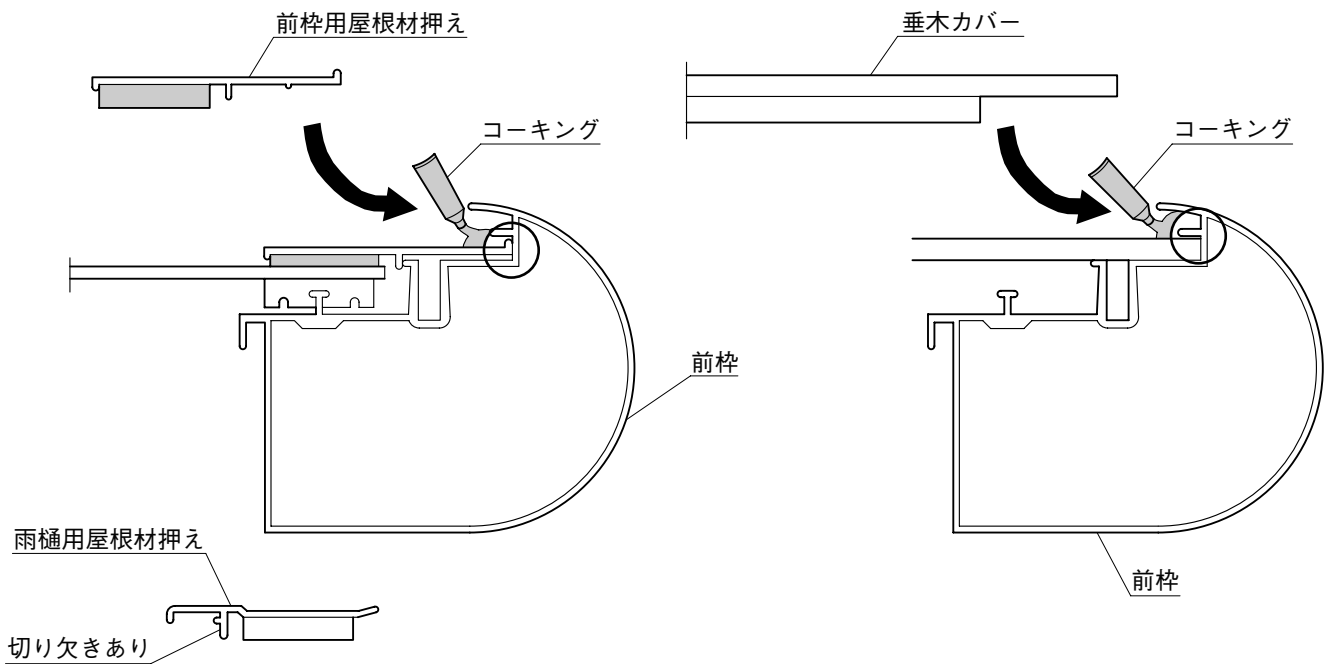
6. 屋根材の取付け



- ① 垂木と雨樋・前枠が直角かどうか調べ、直角が出ていない場合は前枠を矢印方向に移動させ、調整して下さい。屋根材は、上下左右、均等になるようにのせて下さい。
- ② 垂木カバー、屋根材押え(前枠用、雨樋用)にて屋根材を取付けて下さい。

<注意>

- 垂木カバーは前枠側から順に取付けて下さい。
- 屋根材には表裏があります。保護シートをはがす前に必ず確認して下さい。(※1)

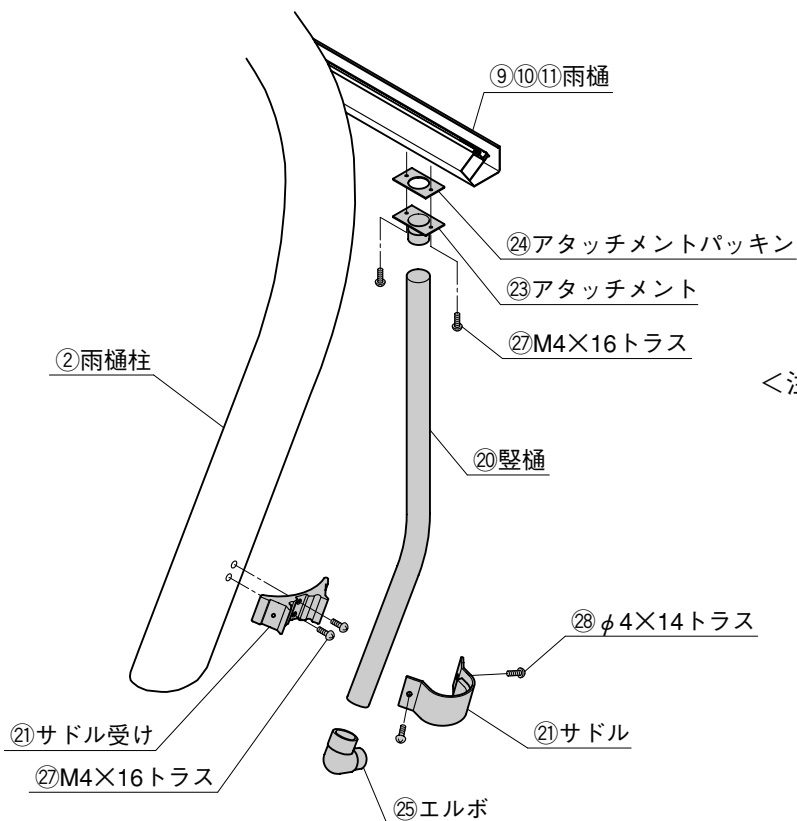


- 前枠用屋根材押え，垂木カバーは前枠の○部分にまで差込んでネジで固定して下さい。

<注意>

- 垂木カバーと屋根材押えの継ぎ目および前枠との当り面はコーキングを施し、ヘラ等でなじませて下さい。

7. 雨樋セットの取付け



- ① サドル受けを雨樋柱に取付けて下さい。
- ② 縦樋はサドルで押さえるようにして取付けて下さい。

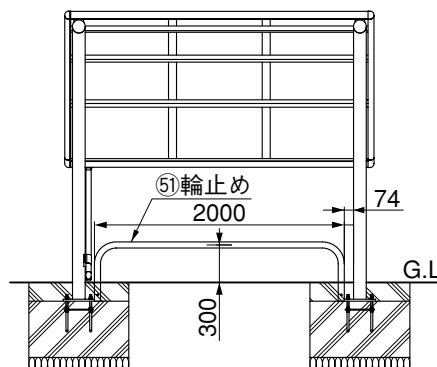
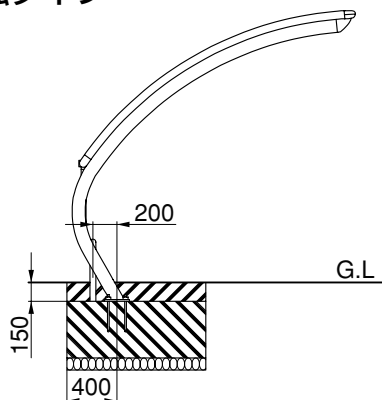
<注意>

- アタッチメントを取付けない箇所は穴ふさぎ板とアタッチメントパッキンでふさいで下さい。

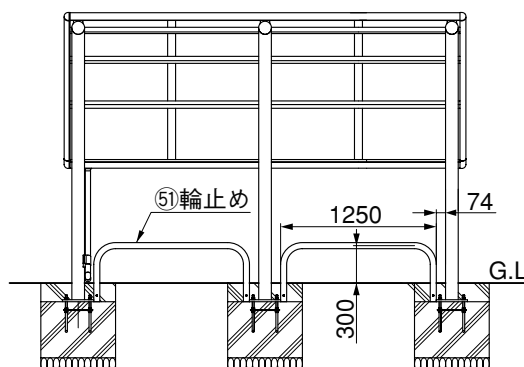
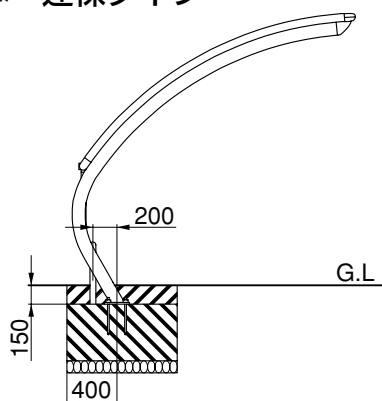
輪止めの取付け

① 設置位置

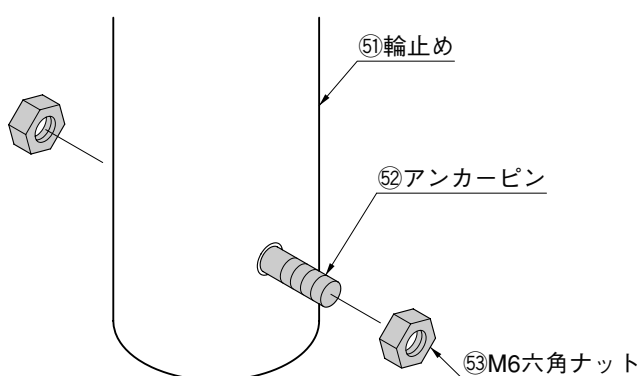
(1) 単独タイプ



(2) 基本・連棟タイプ



② アンカーピンの取付け



- ① 輪止めは、本体の基礎を仕上げる（上部150mm）前にアンカーピンを取付けて埋込み、設置してください。

工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けてください。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

施主様へ

- 積雪が20cmを超えないうちに必ず雪おろしをしてください。
- 絶対に屋根の上に乗らないでください。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

E073

RHM881652E
98-04A

201303G_1001